

<新入生のみなさんへ>

フィリピン・ダブルディグリープログラム（修士）

派遣先 : De La Salle University
派遣期間 : 2024年9月～2025年7月 or 8月
テーマ : 人間の安全保障
専攻分野 : 開発政策、政治学
募集人数 : 1名
応募〆切り : 2024年4月中旬頃

フィリピン・ダブルディグリープログラムとは、1年を大阪大学国際公共政策研究科で、もう1年をフィリピンのデ・ラ・サール大学リベラルアーツ大学院で学び、2つの大学の学位（修士）を2年間で同時に取得するプログラムです。両方の大学で課程修了に必要な単位を修得し、修士論文を英語で1本書いて、両大学で審査され、合格すればプログラム修了となります。

人間の安全保障を大テーマとし、平和構築、開発・援助、災害復興、人権、環境、民主主義などの分野から研究テーマを選ぶことができます。相手校はマニラの中心部に位置するカトリック系の伝統校、デ・ラ・サール大学であり、リベラルアーツ学部大学院（修士課程）の開発政策と政治学専攻のいずれかになります。授業は大半が英語です。

奨学金がつくか付くか付かないかは、年度開始までわかりません。奨学金が付いた場合、受給資格者は日本人または永住資格者となります。授業料は大阪大学に払うこととなりますが、デ・ラ・サール大学では授業料以外にビザ切替等に経費が発生します。また、渡航費、海外旅行保険が必要となります。

デ・ラ・サール大学校舎



担当者・問合せ先

南 和志 (OSIPP) : minami@osipp.osaka-u.ac.jp

★まずは、メールで気軽にご相談下さい。



2024 年度日比平和と人間の安全保障ダブル・ディグリー・プログラム

2024 年 8 月派遣学生募集要項

大阪大学大学院国際公共政策研究科（OSIPP）とフィリピンのデ・ラ・サール大学リベラルアーツ学部（Faculty of Liberal Arts, De La Salle University）が共同で実施する、博士前期課程の正規学生を対象としたダブル・ディグリー・プログラムの 2024 年度派遣学生を、下記の要領で募集する。

記

- 趣旨** 「平和と人間の安全保障」（例えば、紛争、貧困、災害、移住、ジェンダーなど）をテーマとする大学院生にフィリピン留学の機会を提供する。派遣する学生は 1 年間 OSIPP で、1 年間デ・ラ・サール大学で勉強し、それぞれの大学院の修了要件を満たし、2 つの大学院より修士号を授与される。具体的には OSIPP で 1 学期間学び、8 月末からフィリピンに留学して 1 年間を過ごし、8 月に戻って来て修士論文執筆に取り組む。日本では修士（国際公共政策）を取得し、フィリピンでは修士（開発政策）または修士（政治学）を取得する。
- 留学期間** 2024 年 8 月から 1 年間。
- 留学先** デ・ラ・サール大学リベラル・アーツ学部大学院（フィリピン）
- 奨学金** なし。
- 募集人員** 1 名
- 出願資格** 国際公共政策研究科に在籍する正規の大学院生（博士前期課程）。
- 出願手続** 以下の書類を締め切りまでに国際公共政策研究科教務係窓口へ提出すること。
1. 所定の応募用紙（日英いずれでも可能）
 2. 前年度の成績がわかる成績証明書（博士前期 1 年生の場合は学部卒業時のもの）（和文）
 3. 学部の卒業証明書（英文）
 4. 学部の成績証明書（英文）
 5. 英文による学習及び研究計画書（500 ワード程度で形式自由）
 6. TOEFL 又は IELTS 又は TOEIC のスコア（ない場合は不要）
 7. パスポートの顔写真面のコピー
- 出願締切** 2024 年 4 月 8 日（月）16 時 00 分（遅れる場合は事前に連絡して下さい。）
- 選考方法** 書類選考および面接
- 合格発表** 2024 年 5 月中旬
- 保険等加入義務** 1. 本プログラムで渡航する学生はかならず自分で旅行保険に入ること。
2. 本プログラムで渡航する学生は、大阪大学の派遣留学生危機管理サーブス（OSSMA）に加入すること（有料）。OSSMA については以下のページを参照。<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/outbound/ossma/ossma>

問い合わせ先 国際公共政策研究科准教授・南 和志 (minami@osipp.osaka-u.ac.jp)

注記

1. 留学に際しては指導教員と十分に相談の上決定してほしい。就活の時期と重なることもあり、進路についてはしっかりと考えること。
2. 具体的な出発日・帰国日は受入大学の学期と本人の事情を勘案して、派遣決定後、個別に相談の上決めるものとする。
3. 単位認定は派遣元大学の方針・判断に基づいて行われるものであり、すべての取得単位が認定されるとは限らない。
4. 東南アジアへの留学は、欧米への留学と比べて、災害、事故、犯罪、病気、怪我といったリスクへの対応がより一層求められる。そのため必ず自分で旅行保険に入り、大阪大学の派遣留学生危機管理サービス (OSSMA) に加入しなければならない。さらに、予防接種を受けることも必要である。ことばの壁、文化の違いなどからストレスを感じる可能性があるため、対応策も考えておく必要があるだろう。
5. 航空券、ビザ、海外旅行保険、OSSMA、その他必要となる手続きはすべて学生自身が行い、それにかかる経費は全て自己負担となる。デ・ラ・サール大学ではビザ切り替えに伴う証書発行などのために一定の手料を払う必要がある。
6. 本プログラムを2年で修了しない場合、あるいはデ・ラ・サール大学での在籍期間を所定より長くとする場合、デ・ラ・サール側での授業料が発生する可能性がある。詳細はデ・ラ・サール側と協議しなければならない。

デ・ラ・サール大学リベラル・アーツ学部大学院課程について

| | |
|-----|---|
| 学期 | Term 1: 2024年8月第4週～12月第2週 (予定) Term 2: 2025年1月第1週～4月第3週 (予定) Term 3: 2025年5月第3週～8月第4週 (予定) |
| 専攻 | 本プログラム学生が選ぶことができるのは、政治学、開発政策である。以下のHPで該当する専攻を選ぶとカリキュラムを見ることができる。時間割はのちに発表される。 |
| 言語 | 授業はすべて原則英語で行われる。 |
| 単位 | 1科目3単位、修了要件単位は36単位 (内、10単位までOSIPP取得単位を単位互換可。内6単位は修士論文) |
| 授業料 | 派遣先では不徴収 (応募学生は所属する大学院に授業料を納付する) |
| 宿舍 | 大学近くのアパートを自分で借りる (月5万円程度) か、デ・ラ・サール大学が所有する寮へ入寮する。 |
| HP | http://www.dlsu.edu.ph/academics/graduate-studies/cla/programs.asp |